

審判の手順・確認事項 線審の基本確認事項 スコアシートの記入について

鳥取県ママさんバレーボール連盟
審判委員会

2017年4月 1日
2018年4月 1日改訂
2023年6月11日改訂

審判の手順・確認事項

平成29年1月
鳥取県ママさんバレーボール連盟
審判委員会

1 ジャンケン (試合開始予定時刻の10分前)

- ・主審→吹笛 キャプテンと監督を呼ぶ(サービスオーダ持参)
- ・副審か記録員 サービスオーダを受取り確認(署名があるか、副・M欄に居れば○)
↳監督(キャプテン)にフルネームで!
→副審が確認後は、サービスオーダを記録員へ
- ・主審 (Aコート側) 副審(Bコート側)で、記録席との間にキャプテンをはさみ立つ
 - ① あいさつ(握手) 主→副→キャプテン同志 *主・副 派遣時は、県名・名前を名乗る
 - ② 主審 試合中での注意事項を伝える
* ゲーム以外のボールの侵入時・ワイピング(各チームで、モップは副審立会)等…
 - ③ 主審 「では、ジャンケンをお願いします」
 - A) 勝った方に、サーブ権かコートのサイドを選択してもらう
 - B) 勝った方に、ウォーミング・アップは先か後か選択してもらう
 - C) A)でサーブ権を選択したら、負けた方にコートを選択してもらう
* A)でコートを選択したら、必然的にサーブ権も決まるので B)はない
 - ④ 副審 記録員に伝える→スコアシートの『対戦チーム欄にチーム名・()にA・B』『サービス順の欄のA・Bにサーブ権の○』があるか確認
 - ⑤ 主審 キャプテンと監督に、スコアシートにサインをしてもらう
 - ⑥ 主・副 サイン後、各チームへプレーヤー全員エンドラインに並ぶよう促す

2 整列(プレーヤー全員エンドライン)

- ・主審 (Aコート側) 副審(Bコート側)を揃って、副審側から審判台の下まで進む
* 選手がエンドラインに並びかけるタイミングで…
- ・主審→吹笛 プレーヤー、チーム役員、記録員(立つ)、線審(記録席後か横で)は一緒に一礼
* あいさつ後、チームをベンチへ(ウォーミング・アップするチームはコートへ)促す、主審 副審は、記録席側へもどる

3 ウォームアップ(各チーム3分 *例外を除く) *例外…合同等がある

- (6分)の間に主審・副審・記録員 手順良く行う ↓
- ・主審→吹笛 (副審に声をかけ“計時”の用意ができているのを確認すること)
 - ① 主審 線審とミーティング(後、線審は定位置で目を慣らす・旗を振る練習)
 - ② 主審 審判台の確認(高さ調整: 必要ならば副審に協力を得る 等)をする
* 審判台の確認はゲーム前に時間があればやっておくと良い
審判台に上がって目を慣らす(アタック練習など見ておくと良い)
 - ③ 主審 ユニフォームや禁止されたものを着けてないかチェックする
必要であれば点示係へ声かけ(事前のミーティングがあればその時に)
* 主審のポイントを確認して得点を入れるように/記録席とのコンタクト
 - ④ 主審 副審との打合わせをして、確認をしておく(ゲーム中の事 等)
 - ⑤ 主審 記録席の前で、スコアシートの“準備 OK”を副審より報告を受ける
.....
 - ① 副審 計時開始→登録選手の人数確認
 - ② 副審 スコアシートが適切に記入できているか確認し、主審に伝える
 - ③ 副審 記録員との確認事項 等、打合わせをする
 - 副審→吹笛 3分後のウォームアップ交代の合図 ■
.....
 - ① 記録員 サービスオーダーとエントリーのチェックをする
 - ・副審→吹笛 ウォームアップ終了

4 スターティングメンバー整列（エンドライン）

- ・主審→ 吹笛 両チームのウォームアップ終了後、第1セットのプレーヤー(9人)をエンドラインに導く
- ・副審 ① 番号を付けてない役員（監督・副監督・マネージャー）は座ってもらう
- ② どちらのチームからでも良いので、記録員を促し同じ方向を向き、サービスオーダを見ながら、エンドライン上のプレーヤーの並び順の確認→ベンチのプレーヤーの番号も確認(記録員が確認できたら座ってもらう)
* 両チームとも同じ手順で行う
- ③ 両チーム確認できたら、記録員から合図をもらい、ベンチコントロール(飲み物・荷物がプレーに妨げにならないか？危険でないか？ベンチの後ろに置いてあるか?)をして
笛をくわえて、主審に両手を上げ合図を出す
- ・主審→ 吹笛 プレーヤーはコートの中へ
- ・副審 ④ 笛をはずして、サーバー権のあるチーム(なるべくサーバーに)へボールを両手で出す(チームが円陣を組んでいる中へは、危険なので出さない)
- ⑤ サーバーの確認後、笛をくわえて定位置へ立ち、主審を見る
*ここで、合図の両手を上げる必要はない

5 プレーボール

- ・主審→ 吹笛 プレーボール *副審の追従はいらない
(サーバーがサービスの準備をする頃のタイミングで)
* スコアシートの第1セットの開始時間となる

* ゲーム中（タイムアウト）

ベンチの監督もしくはコート内のキャプテンから“タイムアウト”の要求があったら

*** 必ず立ってシグナルで要求のあったことを確認すること！***言葉はいらない

- ・副審→ 吹笛（主審→吹笛 副審が気付かなかったり、主審側に要求があった場合）
 - ① 吹笛と同時に要求があったコート側でシグナル→コート中央を指す
 - ② 計時開始→ボールを受け取る→記録席へ
- ・副審→ 吹笛（30秒後）プレーヤーをコートの中へ
 - ① サーバーにボールを出す(笛をはずして、両手で出す)
 - *② **タイムの要求回数が2回になったら**
要求のあった人(監督・キャプテン)へ「タイム2回です」とシグナルをそえて伝える
 - ③ 記録員の合図を確認→ベンチコントロール後→笛をくわえて主審に両手を上げ合図を出す
- ***タイムの要求回数が2回になったら**
- ***主審には タイム中(30秒後の吹笛までに)に知らせる**
 - ・タイムの要求があったコート側に立ち、シグナルと回数(2回要求があった方のみ)
 - ・回数を示す手は、Aコートでは左手・Bコートでは右手で

* ゲーム中（プレーヤー交代）

ベンチの監督もしくはコート内のキャプテンから“プレーヤー交代”の要求があったら

*** 必ず立ってシグナルで要求のあったことを確認すること！**

*** 交代プレーヤーの番号を言ってもらおうこと！ * 副審が確認すること**

*** 1度に2組以上の交代の場合は、シグナルの次に示してもらおうこと！**

・副審→吹笛（主審→吹笛 副審が気付かなかったり、主審側に要求があった場合）

① 吹笛と同時に要求があったコート側でシグナル→コート中央を指す

② 笛を外し、ベンチ前の支柱に近いサイドラインに立ち（ラインを踏まない）交代プレーヤーを誘導し、片手を上げてもらう

③ 記録員の片手が上ったら、交代（プレーヤーに触れないこと！言葉で誘導）

*** ④ プレーヤー交代の要求回数が3回になったら**

要求のあった人（監督・キャプテン）へ「プレーヤー交代3回です」とハンドシグナルをそえて伝える

⑤ スコアシートの記入が完了した合図を確認、主審に両手を上げて合図を出す

*** 2組以上の場合**→1組ずつ完了させて（②～③）→⑤

*** 主審には 3回の交代の手続きが終わった後に報告する**

・プレーヤー交代の要求があったコート側に立ち、シグナルと回数を示す

・回数を示す手は、Aコートでは左手・Bコートでは右手で示す

* セット終了

第1セット終了（記録員がセット終了のシグナル→確認後 副審 シグナル→主審）

・主審→吹笛：セット終了 シグナル

↓ * 間をあげず、連続して吹笛

・主審→吹笛：チェンジコート シグナル（エンドラインに並ぶ必要なし）

第2セット終了（記録員がセット終了のシグナル→確認後 副審 シグナル→主審）

1対1になったら

・主審→吹笛：セット終了 シグナル

↓ * 間をあげず、連続して吹笛

・主審→吹笛：そのままのコートでベンチに誘導（エンドラインに並ぶ必要なし）

2対0になったら→ゲームセットの手順へ

* セット間（2分間）

・副審 ① 各チームの監督（キャプテン）から、プレーヤーの交代の申告があれば番号を言ってもらって受け、記録員に伝達する

* 記録用紙に早く書けるように、ベンチに確認に行っても良い

・記録員 次のセットに番号を転記の際、書きやすいように記入する

・副審 ② スコアシートが適切に記入できているか、確認する（主審への報告はなし）

* 第3セット目（コートチェンジ） *リードするチームが11点に達した時

・主審→吹笛 チェンジコート シグナル（エンドラインに並ぶ必要なし）

・副審 ボールを受け取る→スコアシートの記入確認→主審に両手を上げて合図

* ゲームセット（記録員がセット終了のシグナル→確認後 副審 シグナル→主審）

・主審→吹笛：ゲームセット シグナル

① 両チームをネットを挟む位置（キャプテンは主審・副審側に）誘導し整列

② 主審は審判台を降りて（Aコート側）、副審は審判台下へ移動（Bコート側）に立つ

・主審→吹笛 両チームあいさつ（握手）／キャプテンあいさつ（握手：主審→副審）

・主審・副審 記録席側へ移動→主審は線審とミーティング

スコアシートチェック・署名（記録員→副審→主審）→→本部席へ

* タッチネット（副審が吹笛した場合）

- 副審→ 吹笛 : タッチネットのシグナル
(タッチネットをしたチーム側で！ネットに触れなくても良い)
 - ↓ ① タッチネットの反則をしたチーム側の手でシグナル
 - ↓ ② どのプレーヤーが反則をしたのか示す → 主審を見る
- 主審 反則したチームの反対側にポイントのシグナルを出す（吹笛はしない）
 - ↓ *タッチネットのシグナルは出さなくて良い
- 副審 主審のポイントのシグナルを追従

* サービスオーダの違反（審判の手順）

サービスオーダに反したサービスを打った瞬間に成立しそのチームの反則である

- 記録員→ **ブザー**（等音の装置で知らせる）
- 副審→ **吹笛**（まずゲームを止める：片手を上げなくても良い）
 - ① ボールを回収する
 - ② サービスオーダを持って、記録員から報告を受ける
 - ③ 主審のところへ行く（違反のあったチーム側のコートを通る）
 - ④ 主審に修正結果を伝える
- 副審 元の位置に帰り、得点の確認や記録員がスコアシートに記入できるよう配慮
*記録席を配慮しながら、主審もみておく（ポイントの追従をするため）
- 主審 両チームのキャプテンを呼び説明→ キャプテンをかえす
- 主審→ **吹笛** 反則したチームの反対側にポイントのシグナルを出す
- 副審 主審のポイントのシグナルを追従

修正結果の伝え方（記録員→副審→主審→キャプテン）

分かるように伝える

- 《 例 》 i … ① 正規のサービスプレーヤーの番号 ② 次のサービスプレーヤーの番号
ii … 今は○番のサーブでした、次は○番が打って下さい

< 備 考 >

H30.4 修正・追記事項あり

R5.6 修正・追記事項あり

<平成29年1月作成後の修正・追記事項>

■ 平成30年4月修正 ■

□ 審判の手順・確認事項 □

- 2 整列(プレーヤー全員エンドライン)・主審→吹笛
⇒記録員の次に(立つ)を追記
- 3 ウォームアップ ⇒ 副審の手順①を修正 ⇒ 記録員の任務を追記
- 4 スターティングメンバー整列(エンドライン)・主審→吹笛
⇒ *主審の吹笛(エンドラインへ導く)時の位置の部分削除
- 5 プレイボール
 - *ゲーム中(タイムアウト) ⇒ “タイムアウト”の要求時の *印の文言を修正
⇒ 副審(30秒後の吹笛の後)の手順*②③の順番の入替
⇒ // *②の部分(シグナルをそえて)を追記
 - *ゲーム中(プレーヤー交代) ⇒ “プレーヤー交代”の要求時の *印の文言を修正
• 副審→吹笛 ⇒ 手順 *④と⑤の入れ替
⇒ *④の部分(シグナルをそえて)を追記
 - *タッチネット(副審が吹笛した場合)・副審→吹笛
⇒ 副審のシグナルを出す立ち位置を修正

□ 線審の基本確認事項 □

- * 立ち位置 ■ タイムアウト,セット間 ⇒ 分けて記載
- * アウトの判定 ⇒ ④の項目を追記
- * ワンタッチのシグナルを出す時 ⇒ ①~③へ文言追記
⇒ (注)の項目を追記
- * フラッグを振る時 ⇒ ②を修正

■ 令和5年6月修正 ■

□ 審判の手順・確認事項 □

- 文中のページ数全てを削除
- 1 ジャンケン (試合開始予定時刻の10分前)
 - 主審→吹笛 キャプテンと監督を呼ぶ(サービスオーダ持参) ⇒ 文言順番入替え
- 3 ウォームアップ (各チーム3分 *例外を除く) *例外…合同・単独 等がある
⇒ *例外… 単独 を削除
- // ③ 主審 必要であれば点示係へ声掛け……
*主審のサイドを確認して… ⇒ 主審のサイドをポイントに変更
- 5 プレーボール
 - 主審→吹笛 プレーボール *副審の追従はいらない
⇒ プレイ・ボールの文言をプレーボールに変更
- * ゲーム中(プレーヤー交代)
②交代プレーヤーを誘導し片手を上げてもらう ⇒ 片 を入れ片手に修正
- * セット間 (2分間)
 - 副審 ① 各チームの監督(キャプテン)から、プレーヤーの交代の申告があれば
番号を言ってもらって受け、記録員に伝達……
⇒ 番号を言ってもらっての文言を加筆修正・(副審から交代を確認に行く必要はない)を削除
⇒ * 記録用紙に早く書けるように、ベンチに確認に行っても良い の文言も加筆
⇒ • 記録員 次のセットに番号を転記の際、書きやすいように記入する を加筆
- * ゲームセット
 - ① 両チームをネットを挟む位置(キャプテンは主審・副審側)に誘導し整列
⇒ (キャプテンは主審・副審側)の文言を加筆修正

- * サービスオーダの違反（審判の手順）
修正結果の伝え方（記録員→副審→主審→キャプテン）
⇒ 分かるように伝える 例文 i, ii とし、* H28.4 全国研修会確認済 の文言を削除

□ 線審の基本確認事項 □

- * インの判定
 - ①担当ラインの内側 2m以内は、インのシグナルを出す…解説図に イン で表記
⇒ 解説図に イン を表記 を加筆した
- * アウトの判定（各ラインの担当がアウトのシグナルを示す）
 - ④プレーヤーが(に)、2本目以降に落ちて自コートの外に落ちた場合はアウト
従前はワンタッチのシグナルで示していた ⇒ 以上の④の項目を削除
- * ワンタッチのシグナルを出す時 * 1人目のプレーヤーに触れた場合
⇒ * プレーヤーに触れた後のボールアウト に文言を 変更
- ①②とも 1人目の を削除し、レシーバーをプレーヤーに変更
- ③の 1人目の を削除し、確認できた線審全員(エンドライン・サイドライン共)
⇒ 確認できた線審 全員… 全員から後ろ すべて削除
- ④ 2人目以降のプレーヤーが(に)触れてコートの外に出た場合 ⇒ 担当ラインの線審が
アウトを示す ⇒ この④の部分すべて削除